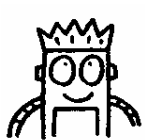


がんじん  
**鑑真は、なぜ目が不自由になったの**



63歳さいだったので、老人性白内障ろうじんせいはいくわいしょうではないか、といわれているんだよ。

5回ごかい目の渡航失敗の後で、目が不自由になった

鑑真は、748年に、日本への5回目の渡航に出発しましたが、あらしにあって、中国南部の海南島ハンナンとうに流れ着き、まともや失敗に終わりました。そこから、出発地の揚州ヤンチョウに帰る旅行中に、目が悪くなってきました。目の病気をよく治すといううわさの胡人こじん（ペルシャ人やアラビア人のこと）の医者に、手術してもらいましたが、うまくいかず、63歳で目が不自由になりました。

老人性白内障ではないか、といわれている

鑑真がかかった目の病気の名前については、くわしい記録が残っていないので、わかりません。63歳という年れいから考えると、お年寄りの目の病気に多い、目の水晶体すいしょうたいが白くにごる老人性白内障ではないか、といわれています。また、完全に見えなくなったのか、少しは見えたのかについても、いろいろな説があるようです。

目が不自由になっても、日本へ行こう  
という意志は、変わらなかったのね。

